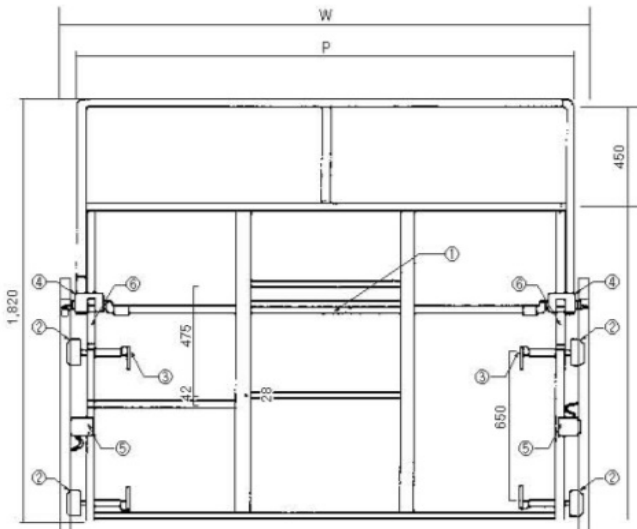


カルガルガード (特許 第4045201号)

品名	カルガルガード	品番	W	P	重量(kg)
		カルガルガードⅡ 1829	1,829	1,725	15.6
		カルガルガードⅡ 1524	1,524	1,420	14.6
		カルガルガードⅡ 1219	1,219	1,115	13.5
		カルガルガードⅡ 914	914	810	9.9

1ラック 20枚



各部名称

- ① 解除操作レバー
- ② ローラーガイド
- ③ ロックレバー
- ④ 可動フック
- ⑤ 落下防止金具
- ⑥ 筋かい避け装置

※このカタログに記載した仕様・寸法は、改良の為予告なく変更することがありますのでご了承下さい。

※別途カルガルガード ビデオカタログ ver.1.1 有り

トラック積載量のめやす (梱包枚数20枚)

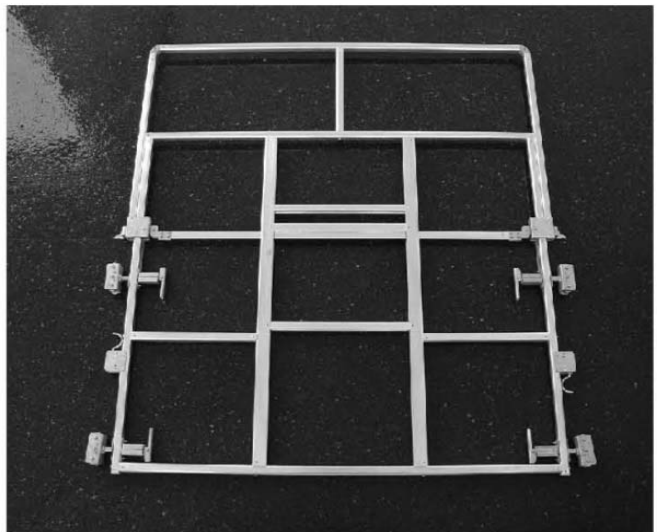
- ・4t車 60枚 (3梱包)
- ・10t車 100枚 (5梱包)

●カルガルガードの特徴安全性

建設工事において高所作業を安全に行う為に設置するものであることから、足場からの墜落防止、安心感のある作業環境を作ることを重点に考案した先行手摺枠。外観はアルミ製で軽量化をはかり美観もよく、耐久性があり錆にも強い。

— 特徴 —

- 1, 1スパンに1台の取り付けで上下に昇降し、全般に取り付ける必要がない。
- 2, 作業員一人で取り付け解体、昇降作業が可能。
- 3, アルミで軽量。
- 4, 美観に優れている。
- 5, 全段全スパンの据え置きタイプの先行手摺りに比べて運搬コストが低い。
- 6, 据え置きタイプに比べ、足場両側面に取り付けが可能。
- 7, 足場両側面に取り付け、小口側を塞ぐことによって安全帯の必要がない。
- 8, 中間落下防止装置を備え、二重の安全を確保できる。
- 9, 本体を上げて行くときは、持ち上げるだけで固定金具が建枠補鋼材、横架材を交差し固定される。
- 10, 下降時も固定金具解除レバーを握るだけで下降出来る。



以上のような特徴がありますが、特に中間落下防止装置については組立時において上方に移動後、建枠の脚注の内側よりフックを掛けることにより外側への落下を確実に防止できる構造になっており、作業自体は片手でも出来るように簡素化してあります。強度の面においても、30kgの重りを吊り下げた時の水平移動が平均57mmです。(認定基準値100mm以下)、100kgの重りを吊り下げた時の水平移動量が199mm (認定基準値 450mm以下)、となっており充分クリアしております。以上の事から社団法人仮設工業会 枠組足場用手摺枠 (第2種) 認定合格証を取得しております。

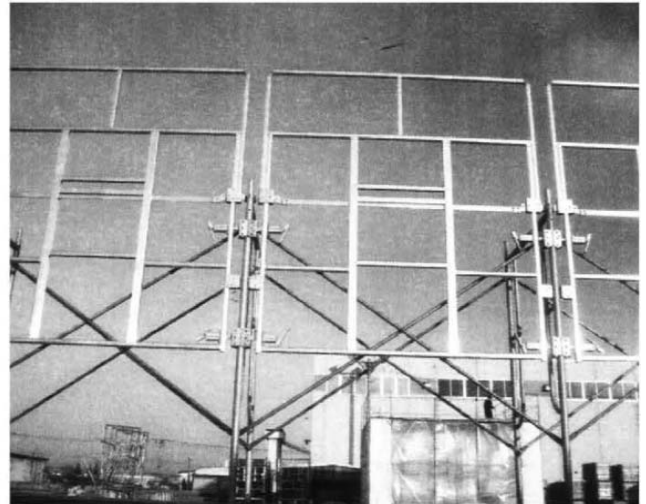
カルガルガード (特許 第4045201号)

●使用手順

(カルガルガードのセット作業)



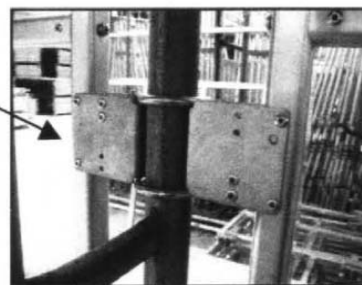
スライド式の為、都度の先行手摺枠の吊り上げ・取り付け作業は不要。



吊り上げ作業が不要の為、作業者の落下の危険性はない。



カルガルガードは落下防止装置を備えており、先行手摺枠自体が落下する危険性はない。



使用上の厳守事項！

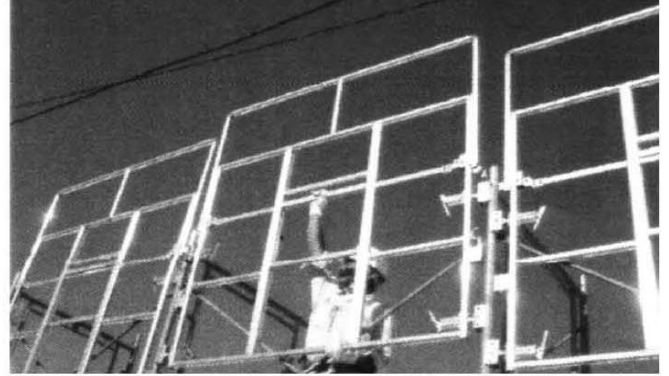
- ※カルガルガードには安全帯を取り付けしないで下さい。足場を設置する場合は、あらかじめ躯体側最上段に親網ロープを張り巡らしてから組立作業をしてください。(解体作業も同様です。)
- ※カルガルガードは大和式アームロックレスピン専用仕様となっております。(弊社の枠組み足場を合わせてご利用下さい。)
- ※建柱に交叉筋違が装着されていない状態でカルガルガードを昇降しないで下さい。
- ※安全の為、ご面倒でも落下防止金具は昇降移動後、その都度セットして下さい。
- ※アルミ製品ですので運搬時には必ず梱包等の養生のうえ、取り扱いにご注意ください。
- ※ステッカーの貼ってある面が足場作業床側になります。ご注意願います。
- ※作業を円滑に進める為、解体の際は交叉筋違をあらかじめ手前側に引き寄せてから本体を下降させてください。

カルガルガード（特許 第4045201号）

●足場の解体



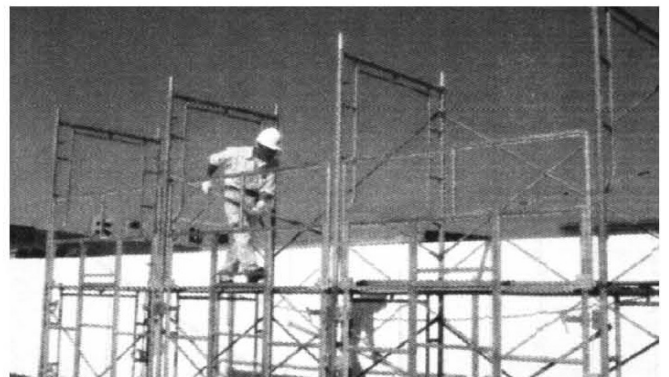
①最上段の足場を解体していきます。（最上段にはカルガルガードのみが残ります。）



②下段に降り落下防止金具を解除した後、筋交を一度手前に引き寄せてから、本体を少し持ち上げて可動フックをたたみ、本体を下げます。



③足下の建枠横架材に可動フックが腰掛ける位置まで解除バーを操作し手を持ち替えながら、本体を下げます。



④手摺りがある状態で再び落下防止金具をセットしてから最上段の足場を順次解体していきます。

落下防止金具の操作方法（注意…反対側の落下防止金具は下向きとなっております。）

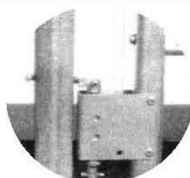
セット方法



①金具のフックを持ち上げます。



②フックを内側に倒します。



③フックを建枠の内側に90°回転して完了。

解除方法



①フックの下部を指で上方に押します。



②下部を押ししたまま建枠に沿って90°回転します。



③フックを垂直に起こして完了です。

改善措置機材

手摺先送り方式・手摺据置方式で組み立てられた足場であって二段手摺及び幅木の機能を有する部材が構成部材として備えられていないものに対して、それが備えられた状態と同等の機能を与えるために、足場の設置状況に応じて改善措置機材のいずれか又は複数のものを取り付けたもの。

当社は手摺先送り方式を採用していますので足場の組立・解体時以外の足場上の緊張状態を改善するために有効な機材を用意しています。